

第17回LCテクノプラザ参加者募集

主催 日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会

共催 日本薬学会、日本化学会

後援 日本分析機器工業会

期日 2012年1月26日(木)・27日(金)

会場 横浜情報文化センター(7Fの情文ホール及び大会議室) [住所: 横浜市中区日本大通11番地、電話 045-664-3737、交通アクセス: みなとみらい線「日本大通り駅」情文センター口より直結、JR根岸線「関内駅」より徒歩10分、ウェブサイト:

<http://www.idec.or.jp/shisetsu/s6-jouhou.php4?f=jouhou/1-gaiyou.htm>]

講演分類 ①集中テーマ: (A)前処理における諸問題、(B)分離における諸問題、(C)検出・データ解析における諸問題、(D)未解決の諸問題、教訓的失敗例、②一般テーマ

発表形式 口頭発表(液晶プロジェクター)、ポスター発表(横120cm×縦175cm)

口頭発表 質疑応答を含めて集中テーマ、一般テーマは20分(希望によって30分まで延長可)、LC基礎技術講座、LCテクノレビューは30分。

ポスター発表 発表者は1日目の11時までに横120cm、縦175cmのスペースにポスターを貼り終え、2日目の15時以降に撤去して下さい。1日目の14時30分から、各自150秒以内で内容を紹介して下さい(パワーポイント使用可)。

座長へのお願い(交渉中の方を含む)

ご担当の講演の15分前までに、受付にお立寄りください。また、講演時間を厳守して進行いただきますようお願い致します。

プログラム

総合司会(佐々木久郎)

1日目(1月26日)

9.20-9.25 開会挨拶 中村 洋

9.25-9.30 世話人挨拶 細野寛子

集中テーマ: (A)前処理における諸問題

9.30-10.30(座長: 大河原正光、坊之下雅夫)

A01 微量分析におけるサンプルバイアル吸着の問題と対策(日本ウォーターズ) ○佐々木俊哉、津田葉子

A02 LC-MS/MSを用いたパラコート及びジクワットの同時分析法開発(アサヒグループホールディングス) ○永富康司、柳沢真由美、宇山敦生、望月直樹

集中テーマ: (B)分離における諸問題

10.30-11.30(座長: 神田武利、竹澤正明)

B03 グラジエントプロファイルに起因するメソッド移管時の選択性変化の解決法 (アジレント・テクノロジー) ○熊谷浩樹、見勢牧男

B04 HPLC 生産性の向上と UPLC へのスムーズな移管を実現する新規 2.5 μm カラムについて (日本ウォーターズ) ○津田葉子、佐々木俊哉

11.30–12.30 (座長: 黒田育磨、中込和哉)

B05 低交換容量スルホン化ポリエチルスチレン-ジビニルベンゼン樹脂カラムによる核酸塩基とヌクレオシドの同時分離・定量 (横浜国大院環境情報) ○宮寄孝一、横山幸男

B06 コアシェル型充填カラムの特性 (クロマニックテクノロジーズ) ○塚本友康、長江徳和

13.30–14.00 (座長: 堀江正一)

B07 食品中のプリン体測定法について (帝京大薬) ○稲沢克紀、大久保寿一、佐々木ひかる、野々宮菜彌、加藤由佳、佐藤亜衣、福内友子、山岡法子、安田誠、馬渡健一、中込和哉、金子希代子

LC テクノレビュー

14.00–14.30 (座長: 横山幸男)

T08 1.5 μm 充填剤を利用した、ペプチド・タンパクの超高速分離 (グレースジャパン) ○渡辺一夫

ポスター発表紹介

14.30–15.30 (座長: 小林宏資、西岡亮太)

集中テーマ: (A) 前処理における諸問題

AP9 超臨界流体を用いた天然物中成分の抽出と分離精製の検討 (日本分光) ○岩谷敬仁、堀川愛晃、坊之下雅夫

AP10 リン脂質除去による血清中ビタミン D 代謝物の高感度分析の検討 (シグマアルドリッチジャパン) ○松本真理子、Craig Aurand, David Bell, Anders Fridstrom

AP11 DBS 法の LC/MS/MS 完全自動化測定に向けた検討 (東レリサーチセンター) ○神田壮紀、櫻井 周、比毛 浩

AP12 LC-MS/MS による核酸分析の検討 (東レリサーチセンター) ○安田周平、河野憲史、櫻井 周

集中テーマ: (B) 分離における諸問題

BP13 強カチオン交換モードを用いた短時間 LC-MS 分析法 (資生堂) ○瀬尾昌子、荒井 裕子、神田武利

BP14 ODS+カチオン交換ミックスマードカラムの分離特性 (東京化成工業) ○山口 努、井上剛志、長谷川恵子

BP15 HPLC、UHPLC それぞれの視点から見たコアシェル型充填カラムと全多孔性

充填カラムとの比較（クロマニックテクノロジーズ）○塚本友康、長江徳和
BP16 コアシェル型充填カラムの固定相の展開とその使用例（クロマニックテクノロジーズ）○長江徳和、塚本友康

集中テーマ：(C) 検出・データ解析における諸問題

CP17 化学的サプレッサーを用いたイオンクロマトグラフィーにおける亜硝酸イオンの感度変化の原因追及（日本分光）○寺田明孝、岩谷敬仁、佐藤泰世、坊之下雅夫

CP18 逆相 HPLC におけるゴーストピークの原因と対策について（島津ジーエルシー）○佐藤友紀、山口忠行、金野貴行、早川禎宏

CP19 新型パルス式電気化学検出器を用いた糖の高感度分析（資生堂）○荒井裕子、佐伯紘一、神田武利

CP20 抗体糖ペプチドのプロファイリング（日立ハイテクノロジーズ）○宝泉雄介、鈴木裕志、松崎彩子、井上陽子、吉岡千尋、中川裕章

集中テーマ：(D) 未解決の諸問題、教訓的失敗例

DP21 光照射により生じるニコチン及びコチニン蛍光体の解析へのアプローチ（帝京大薬）○安西ひとみ、太田達宏、中村俊貴、萩原健太郎、安田 誠、福内友子、山岡法子、馬渡健一、金子希代子、中込和哉

一般テーマ

GP22 逆相系カラムによるフタル酸エステル類分析（フジクラ）○市川進矢

GP23 リアルタイム PCR を用いた発がん物質による DNA 損傷評価（静岡理工科大）○大塚好美、常吉俊宏、山庄司志朗

GP24 ジャガイモ中のグリコアルカロイド含量に関する研究（大妻女子大家政）○下野なつき、中野舞子、堀江正一

GP25 モノリス型シリカカラム製品の特徴（ジーエルサイエンス）○黒田育磨

GP26 食品試料中アフラトキシン分析についての諸検討（島津製作所）○野村文子、渡邊京子、小林まなみ、西根 勤、濱田尚樹、早川禎宏、三上博久

GP27 コアシェルカラム (Accucore™) - 分析条件の最適化（サーモフィッシャーサイエンティフィック）○本城靖子、福島景子、大河原正光

GP28 クロマトグラフィー性能を表すパラメータの可視化についての検討（信和化工）○小林宏資、和田啓男

GP29 HPLC-CAD 法による脂肪酸分析（日本ダイオクス）○福島景子、鈴木隆弘、大河原正光、関口陽子、Ian Acworth

GP30 HPLC/UHPLC メソッド開発の柔軟性と移管性を向上する次世代ハイブリッドカラムのご紹介（ワイエムシィ）○早勢理人、表 正克、小路庸子、栗山尚浩

GP31 多孔質ガラスを使用したハイブリッド型ガードフィルターの特長（住化分析センター）○西岡亮太

GP32 LC×LC-MS/MS による多成分試料の解析（日産化学工業）○中西将太、野口貴俊、宮本久恵、関 達也

15.30-17.00 ポスター発表コアタイム

15.30-17.00 「LC何でも相談室」開設

情報交換会

17.15-19.30

2日目（1月27日）

集中テーマ：(C)検出・データ解析における諸問題

9.00-10.00（座長：海老原卓也、常吉俊宏、）

C033 N-acetylneuraminic acid とその酸化体 ADOA の蛍光分析法（帝京大薬）
○太田達宏、飯島亮介、油井 聡、安田 誠、福内友子、山岡法子、馬渡健一、金子希代子、中込和哉

C034 メソッドスカウティングにおける新規解析法の提案（島津製作所）○山口忠行、寺田英敏、塚本多矩、西根 勤、早川禎宏

10.00-11.00（座長：市川進矢、望月直樹）

C035 オンライン前処理と LC/MS を用いたアミノ酸迅速分析に関する新たなアプローチ（島津製作所¹、味の素²）○渡邊京子¹、増田潤一¹、早川禎宏¹、吉田寛郎²、宮野 博²

C036 HPLC 用窒素検出器による MS 検出器との補完的データ取得の可能性（エムエス・ソリューションズ¹、ケン商品開発²）○高橋 豊¹、村山 健²

一般テーマ (G)

11.00-12.00（座長：三上博久、宮野 博）

G037 酸化マグネシウムによる L-DOPA の反応機構の解析（帝京大薬）○五十嵐司、重谷英寿、石井律子、川口美紀、安田 誠、福内友子、山岡法子、馬渡健一、金子希代子、中込和哉

G038 シミュレーションソフトを用いたミックスモードカラムでの分離条件最適化（西川計測¹、インタクト²）○下位典子¹、山上 仰¹、中島晋也¹、矢澤 到²

13.00-14.00（座長：須藤良久、馬渡健一）

G039 シミュレーションソフトを用いた光学異性体分離の迅速な分離条件最適化（西川計測¹、東京化成工業²）○中島晋也¹、下位典子¹、山上 仰¹、山口 努²、井上剛志²

G040 ウナギ種全品 DNA 鑑定法の開発（静岡理科大学¹、光コーポレーション²、帯広畜産大³、幸喜⁴、雅水産⁵、あつみ⁶）○中野昇平¹、村田麗彰¹、杉本拓也¹、鈴木

仁美^{1、2}、常吉俊宏¹、得字圭彦³、浅井 昂²、田川ひろぶみ⁴、上田 幹⁵、久保田裕明⁶、久保田隆之⁶

14.00–15.30 (座長：伊藤正人、高橋 豊)

G041 LC-ICP-MSによるショウジョウバエ1個体中の遊離アミノ酸分析(味の素¹、神奈川県立保険福祉大²、首都大学東京³) ○岩畑大悟¹、津田 学²、相垣敏郎³、宮野 博¹

G042 HPLC-ESI-MSによる異常ヘモグロビン症の診断方法の検討(病態解析研) ○菱沼義寛、佐藤麻紀、岡橋美貴子、星野忠夫

G043 ラジカル消去作用を持つペプチドの探索(帝京大薬) ○磯野加奈子、井上美里、安田 誠、福内友子、山岡法子、馬渡健一、金子希代子、重谷英寿、箕浦憲彦、岡田朋子、中込和哉

LC基礎技術講座1

15.30–16.00 (座長：井上剛志、岡橋美貴子)

L044 HPLC分析：前処理の基本(日本ウォーターズ) ○佐々木俊哉

LC基礎技術講座2

16.00–16.30 (座長：佐々木俊哉、長江徳和)

L045 HPLC分析：分離の基本(一般財団法人化学物質評価研究機構) ○須藤良久

LC基礎技術講座3

16.30–17.00 (座長：細野寛子、渡辺一夫)

L046 HPLC分析：検出の基本(日本分光) 坊之下雅夫

LC基礎技術講座4

17.00–17.30 (座長：熊谷浩樹、山本敏人)

L047 HPLC分析：バリデーションの基本(日立ハイテクノロジーズ) ○伊藤正人

17.30–17.35 閉会挨拶

登録費 一般 6,000 円、学生 3,000 円。予約登録はしておりませんので、当日受付にてお支払いください。

技術情報交換会 1月26日(木)17時15分より開催します。参加費 4,000 円は当日お支払いください。

LC テクノレビュー 新技術や製品紹介のための講演枠です(1講演 30分で20,000円)。①申込講演数、②講演題目・発表者名、③連絡先(電話も)を明記し、1月11日(水)までに下記に電子メール等でお申し込みください。先着順。

機器・カタログ展示 横幅 180 cm、奥行き 60 cm、高さ 72 cm の台を使用します。1小間につき、機器展示は 30,000 円、カタログ・書籍展示は 10,000 円。

展示ご希望の方は、①希望する展示の種類、②申込小間数、③連絡先（電話・FAX 番号も）を明記し、1月11日（水）までに電子メールでお申し込みください。なお、展示申込は先着順に受付け、満小間になり次第締切ります。

LC テクノレビュー・展示申込先 第17回LCテクノプラザ実行委員会
[E-mail:nakamura@jsac.or.jp]